

備前市事務事業評価表

事務事業名	三国地区財産区管理事業		コード	担当課係	吉永総合支所 総務課 三国出張所
			06-01-12-10	担当者	原田尚美
事業実施期間	昭和29年度～				
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行財政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	財産管理			
電話	85-0005				

事業について	
目的	三国地区財産区所有財産の管理
対象 (誰のために)	三国地区民（約300名）
内容	三国地区財産区所有の土地管理及び造林木の保育事業

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
一般管理事業	709	千円		
財産区管理事業	836	千円		
植樹事業	539	千円		
分収造林事業	583	千円		
林道維持管理事業				

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,667	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,050	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債		市債		市債		市債		
合計	4,717	一般財源等	4,717	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.25	人		人
結果指標①	結果指標名	一般管理事業		
	結果指標量	709		
	単位	千円		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	2,733,000	円	円
	単位当たりコスト①	2,733,000	円	円
結果指標②	結果指標名	植樹事業		
	結果指標量	539		
	単位	千円		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	1,984,000	円	円
	単位当たりコスト②	1,984,000	円	円

事業の成果			
成果指標名	適切な施業	式又は説明	森林の荒廃防止
成果指標量	17年度		
対前年比	公益的森林整備	#VALUE!	
到達目標値	健全な森林維持	到達目標年度	毎年継続

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：備前市三国出張所設置条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	昭和29年の町村合併で三国地区財産区を設置し、分収造林を行ってきたが、当時と比較して材木の価値がなくなり、営利目的から森林そのものの機能効果を維持するために必要である。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	適切な整備	結果指標量②
目標値	成果指標量	健全な森林の維持

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	森林の荒廃防止	2~30年後	地球温暖化防止、水源かんよう

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識
土地所有面積約1,500haのうち、昭和30年以降官行造林、緑資源機構造林、おかやまの森整備公社造林により約900haを分収造林し、又自力造林約90haを植樹しているが、現在材木の価値が下落しており保育事業費に見合わなくなっている。

地球温暖化防止、水源かんよう等に多大な貢献をしている。

地域住民のため、引続き事業を継続する必要がある。